

平成 29 年 4 月 21 日

会 員 各 位

公益社団法人富山県医師会
学術・生涯教育担当理事
清 水 康 一

第 29 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」について

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、日本医師会主催の第 29 回ワークショップが別紙のとおり開催されます。

ご希望の方は 5 月 18 日（木）までに申込用紙に必要事項をご記入のうえ、富山県医師会事務局 森田宛てに送信願います。(FAX:076-429-6788 E-mail:ishikai@toyama.med.or.jp)

なお、申込多数の際は、日本医師会会員及び富山県医師会会員の方を優先させていただく場合がありますので、ご了承ください。

(生5)

平成29年4月6日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
羽 鳥 裕

第29回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」
(平成29年7月15日～16日)の開催について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本医師会では、1泊2日の合宿形式の「指導医のための教育ワークショップ」を、これまで28回実施してまいりました。

今般、第29回ワークショップを平成29年7月15日(土)、16日(日)に開催することといたしました。内容は基本的にこれまでと同様であります。新たな開催指針(平成26年12月17日付(生100)にてご連絡済み)に則したものとしております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会管下郡市区医師会や会員へのご案内方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

また、その際、地域医療において、臨床研修および医学生の臨床実習に指導医として携わることに関心と意欲をお持ちの方を都道府県医師会においてご推薦いただきますよう、貴職の特段のご高配をお願い申し上げます。

お手数ですが、貴都道府県医師会において別紙の申込用紙にご記入のうえ、平成29年5月19日(金)までにFAXにて日医生涯教育課宛(必着)にご返信くださいますようお願いいたします。そのうえで平成29年5月22日(月)までに参加者を確定のうえ、都道府県医師会にご報告するとともに、本会より参加者に直接ご連絡いたします。

なお、参加申し込みが多い場合は、参加者を各都道府県医師会あたり2名程度に絞らせていただくことがありますこと、また、参加管理は全国医師会研修管理システムにて行うため、参加証は発行しないことを申し添えます。

日本医師会 第29回「指導医のための教育ワークショップ」

趣旨

わが国の医学教育は、新しい医学・医療の進歩と社会のニーズに対応するため、カリキュラムの改善、共用試験（CBT・OSCE）の標準化などの取り組みが重ねられている。

このような状況下、医学部・医科大学で地域の医療機関における卒前臨床実習がカリキュラムに組み入れられ、さらに医師臨床研修制度においても地域医療研修が必修とされている。

このため、地域医療を担う医師による、医学生や研修医に対する指導が求められていることから、指導医としての教育能力を身につけることを目的として、日医会員のためにワークショップを開催する。

本ワークショップでは、教育目標の設定、教育方法の立案および評価法の策定が重要であることを強調する。

なお、平成21年4月より、本ワークショップをはじめとする医師の臨床研修に係る指導医講習会を受講したことが医師臨床研修制度における指導医の必須要件となっている。

主 催 日本医師会

テーマ 研修医へのカリキュラム立案

日 時 平成29年7月15日（土）9時00分～7月16日（日）16時00分

会 場 晴海グランドホテル

〒104-0053 東京都中央区晴海3-8-1 TEL03-3533-7111

方 法 1泊2日の合宿形式によるワークショップ（講習時間16時間15分）

参加者 28名

(1) 都道府県医師会推薦参加者（7年以上の臨床経験を有する者）

(2) その他

* 日本医師会員を優先します。

申込方法 都道府県医師会を通じて申し込む。

参加費用 日本医師会員 4万円
都道府県医師会員または郡市区医師会のみ
の会員 5万円
非会員 6万円

* 7月15日の昼食・夕食・宿泊費、7月16日の朝食・昼食費を含みます。(会場までの旅費は本会では負担しません。)

* 事前にお振込みいただき、当日欠席した場合でも返却いたしません。

修了証 日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」を修了した者に、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」(平成16年3月18日付け医政発第0318008号)に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を発行する。

日本医師会生涯教育制度 12.5単位・8カリキュラムコード

カリキュラムコード

「1・医師のプロフェッショナリズム」、「4・医師－患者関係とコミュニケーション」、「5・心理社会的アプローチ」、「7・医療の質と安全」、「10・チーム医療」、「12・地域医療」、「13・医療と介護および福祉の連携」、「0・その他」

ワークショップスタッフ

ディレクター

松原 謙二 日本医師会副会長
羽鳥 裕 日本医師会常任理事

チーフタスクフォース

福井 次矢 聖路加国際病院長

タスクフォース

内田 博 松江赤十字病院第一麻酔科部長
倉本 秋 一般社団法人高知医療再生機構理事長
後藤 英司 独立行政法人地域医療機能推進機構
JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院院長
羽金 和彦 独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
統括診療部長

事務局

日本医師会生涯教育課

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL 03-3942-6139(直通)

第29回 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」プログラム（案）
 テーマ「研修医へのカリキュラム立案」

第1日 平成29年7月15日（土）

時刻	形式	所要時間	内容
			受付
9:00		10分	プレテスト
9:10			開会 ディレクター・タスクフォース挨拶
9:20	P	30分	参加者他己紹介(2分+2分、1人30秒)
9:50	PL	10分	ワークショップとは
10:00	(1時間10分)		GW1:社会が求める医師の基本的臨床能力
(10:00)	PL	10分	KJ法
(10:10)	G	40分	I 10分, G 30分
(10:50)	P	20分	発表・討論(各グループ5分:発表4分、討論1分)
11:10			休憩(5分)
11:15	PL	20分	最近の卒前医学教育
11:35	PL	20分	カリキュラムとは
11:55			昼食(50分)
12:45	(2時間50分)		GW2:教育目標
(12:45)	PL	20分	教育目標とは
(13:05)	G	10分	ユニットテーマの選択
(13:15)	G	100分	教育目標作成
(14:55)	P	35分	発表・討論(各グループ8分45秒 :発表5分、討論3分45秒)
15:25			休憩(5分)
15:35	PL	25分	医師臨床研修制度の理念と概要・到達目標・修了基準
16:00			休憩(5分)
16:05	(2時間45分)		GW3:教育(学習)方略(第2日に続く)
(16:05)	PL	20分	教育(学習)方略とは
(16:25)	G	90分	教育(学習)方略作成
17:55	PL	30分	コーチング(動画)
18:25			夕食(50分)
19:15	(1時間40分)		Night Session テーマ:指導医のあり方
(19:15)	PL	10分	トリガー 動画
(19:25)	G	50分	シナリオ作成
(20:15)	P	30分	発表(ロールプレイ)・討論
(20:45)	PL	10分	指導医の役割
20:55	P	10分	第1日目の評価記入

21 : 05			写真撮影
21 : 15			第1日 終了
第2日 平成29年7月16日(日)			
時刻	形式	所要時間	内容
朝 食			
8 : 30	PL	5分	振り返り
8 : 35			GW3 : 教育(学習)方略(続き)
(8:35)	P	50分	発表・討論(各グループ12分30秒 : 発表7分、討論5分30秒)
(9:25)	PL	5分	SPICES model
9 : 30			休 憩(5分)
9 : 35		(2時間40分)	GW4 : 教育評価
(9:35)	PL	5分	プレ教育評価演習
(9:40)	PL	15分	教育評価とは
(9:55)	G	85分	教育評価作成
(11:20)	P	50分	発表・討論(各グループ12分30秒 : 発表7分、討論5分30秒)
(12:10)	PL	5分	ポスト教育評価演習
12 : 15			昼 食(50分)
13 : 05	P	5分	教育評価演習結果発表
13 : 10		(1時間30分)	GW5 : 研修現場での問題点への対応
(13:10)	PL	10分	KJ法・二次元展開法
(13:20)	G	50分	問題解決作業
(14:10)	P	25分	発表・討論(各グループ5分、全体討論5分)
(14:35)	PL	5分	抵抗と克服
14 : 40	P	5分	ポストテスト
14 : 45			休 憩(5分)
14 : 50	PL	25分	新たな専門医の仕組みと生涯教育
15 : 15	P	30分	第2日目の評価記入・提出 プレテスト・ポストテスト結果発表 参加者コメント(1人30秒)
15 : 45			修了証授与 閉会挨拶 閉会
16 : 00			終 了

- I (Individual work) 個人作業
G (Group work) グループ作業
PL (Plenary lecture) 全体講義
P (Plenary session) 全体討論